



# 同友しずおか

題字：遠藤 在氏 榛原支部



**私の逸品**  
 食卓の身近な味わいが地域の支えに  
**(有) 鳥 栄**  
 詳細はWEBで! (御殿場支部)  
 静岡同友会  検索



## 特集

第14期 経営指針を創る会 オリエンテーション

### 原点に戻る

共育委員会 合同入社式・若手社員研修

## 大きく羽ばたけ! 明日の「会社の主役」達!

会員訪問記 **滝 和也氏** (株)Next gate・富士支部  
**中村 功尚氏** NK設備(株)・榛原支部

### その他 主な内容

新支部長の抱負、支部総会、富士宮支部 合同入社式、青年部通信、新入会員・名義変更紹介、  
友達の輪、事務局員紹介 ('16.11月・'17.4月入局)

## 平成29年度 重点課題

- ① 経営指針の成文化率を高め、人を生かす経営を実践する同友会型企业を増やします。
- ② 中小企業振興基本条例運動を推進し、政策実現が行える組織づくり、地域づくりをめざします。
- ③ 早期に1200名会員を達成し、地域の活力を生み出す活動を推進します。

# 原点に戻る

4月28日(金) 同友会事務局



望月 宣典氏

同友会運動の核「経営指針の成文化と実践」。第14期経営指針を創る会(以下、創る会)のオリエンテーションが開催されました。修了生はじめ受講を検討している会員総勢30名が集まりました。

今回の新受講生向けの説明会は、創る会の創設者である松永節也氏(元経営労働委員長・㈱フォー・ユー)、そして1期から創る会を支えてくださった外川事務局長、同友会運動のよき理解者である山本義彦同友会顧問、そしてご自身も3期修了生である井上斉氏(ワシロック工業㈱・県副代表理事)の出席の元、創る会の歴史を体現する会となりました。

冒頭、松永氏から参加者に「創る会を通じて修了生が歩む姿、経営者の姿勢、厳しい環境を変えていく心構えをたくさん見た。中小企業家は人生を背負っている。共に学びあった創る会が14期を迎えた。本音で話せる仲間と歩んできた生き方に何ら悔いはない」と中小企業家としての生き様を回想しながら激励の言葉を送りました。14期受講を考える13名の皆さんの自己紹介も、各々の経営姿勢が現れた、新たな歴史を予感させるものでした。

振り返れば創る会の草創期も、今回の13名と同じく様々な課題、迷いを抱えた経営者が集まりました。中小企業向けの経営指南書が無い中、お互

いの悩み、自社の取り組みを共有し、自分のこととしてお互いの課題に取り組み、その議論から学び、それを自社に還元して実践する仕組みを作りました。それが、創る会です。

このような成り立ちからも分かる通り、そこには先生も生徒もありません。参加者すべてが対等な立場で、お互いの課題を自分のこととして考え、お互いに学びあう、そのような場です。山本先生がそのお話の中で「創る会は同友会が一番良くわかる場だ」とおっしゃいましたが、まさに、自主・民主・連帯を体現した場なのです。

創る会は、同友会らしい、労使見解を実践し、「人を生かす経営」を実現する経営指針をつくる場です。13期修了生の古川一郎氏(㈱一電工)から「今は経営者は孤独でない、と素直に思える」との報告がありました。これは労使見解の実践の成果だと思えます。

一人でも多くの経営者が経営指針を成文化し、それを実践することで、一人でも多くの社員さんが「この会社で働いてよかった」と言える会社を増やす。そしてこういう会社が地域を変えていく。一緒にそれを実現しましょう。

望月 宣典氏(清水クレジット㈱・県経営労働委員長)



松永 節也氏

## 第14期 経営指針を創る会スケジュール

講義	日時・会場	会場	主な内容
オリエンテーション	5/15(月) 19:00~	同友会事務局(静岡市)	主旨説明
第1講	6/17(土)~18(日) 9:00~17:00	一泊研修 時之栖静岡ホテル(静岡市)	経営者の決意 労使関係の見解 人を生かす経営とは?
第2講	7/15(土) 9:00~17:00	同友会事務局(静岡市)	自社事業分析 内部・外部環境分析 経営理念とは?
第3講	8/5(土) 9:00~17:00	同友会事務局(静岡市)	経営理念成文化 他
第4講	8/26(土) 9:00~17:00	同友会事務局(静岡市)	経営理念成文化 他
第5講	9/30(土)~10/1(日) 9:00~17:00	一泊研修 時之栖静岡ホテル(静岡市)	経営理念の発表 他
第6講	10/15(日) 9:00~17:00	同友会事務局(静岡市)	経営方針・経営計画の策定
第7講	11/4(土) 9:00~17:00	同友会事務局(静岡市)	経営方針・経営計画の策定
第8講	11/25(土)~26(日) 9:00~17:00	一泊研修 時之栖静岡ホテル(静岡市)	経営指針書の発表

※同友会の経営指針書成文化づくりは「経営理念・経営方針・経営計画・10年ビジョン」の4つで構成しています。

**創る会への参加申込み・お問合せは、同友会事務局までご連絡ください!**

オリエンテーションへの参加は、創る会への参加の必須条件ではありません。ぜひ、経営の「羅針盤」である経営指針を、創る会で成文化しましょう!

【受講要項】決算書ないし財務諸表の基本的な数値(売上・原価・営業利益・経常利益・借入金等)の開示

【受講費】50,000円(書籍代・宿泊代含む)※昼食代は別途 ※受講決定後に請求書を送付

## 大きく羽ばたけ！明日の「会社の主役」達！

4月4日(火)～5日(水) もくせい会館



記念講演講師・齋藤寧氏

毎年開催している、県共育委員会主催の合同入社式・若手社員研修。今年の合同入社式は、30名の元気な新入社員が静岡のもくせい会館に集まりました。冒頭に、齋藤寧氏（株齋藤組・静岡支部）から

「日本の宝へのメッセージ」と題して講演をいただきました。齋藤氏は、新人の頃「石の上にも三年」という言葉に支えられた経験から、若いころは今日の前にあることを我慢してやり続けていく先に必ず未来が見えてくるといふ、継続することの大切さを話されました。続いて、先輩社員の言葉として増田工業(株)（榛原支部）の石神香奈さんから、入社して1年の間に感じたこととして、仕事を覚えていく苦労や先輩社員との関わり大切さを話してくれました。そして、明るく元気に挨拶し、失敗を恐れず、また2度同じ失敗をしないように行動することが重要だといふ、力強いメッセージを頂きました。その後新入社員は、お二人の話の感想についてバズセッションを行い、参加者全員がそれぞれに感じたことを発言し合いました。入社式でのバズセッションは珍しいと思いますが、これには二つの目的があります。一つは話を深め合い学びあうこと、そして二つ目は同期の仲間が大勢いることが分かり、繋がりあうことで一緒に頑張ろうという想いを共有してもらうことです。最後に参加者全員で記念写真を撮り、気持ちも新たに社会人としてのスタートを切りました。



合同入社式参加者 記念撮影

続いて4月4日(火)午後から5日(水)、(有)声の杉山静江氏、エステーアイ・コーポレー

ションの西條浩氏を講師に行われた若手社員研修には22名が参加。第一講座では杉山講師からビジネスマナーに関する研修が行なわれ、テキスト解説の他に名刺交換と電話対応のロールプレイを実施しました。第二講座はマナーコースとビジネスコースに分かれて両講師の研修。第三講座では西條講師から社会人として仕事をする時の基本手順の解説と、セルフコミュニケーションスタイルで各自が傾向を把握。グループワークを通じて、共同作業における自己の役割と責任について体験学習をしました。一泊二日で行われたこの若手社員



研修は、座学以外にも多くの時間を意見交換や共同作業に当てることでリーダーシップやコミュニケーションの実体験を通して学びあうように工夫しています。その他にも時間を守る大切さや、社会人としての集団行動について学び合いました。また、研修の最後には、参加者全員が仕事の分野・対人関係・自己啓発のそれぞれについて決意表明を発表したのですが、社会人としての責任や人間関係の大切さを強く認識した発表が多く見られました。

鈴木 雅夫氏（株ハチマル・県共育委員長）



若手社員研修参加者 記念撮影

# 新支部長の抱負



## 御殿場支部長 遠藤 直樹氏 (株マルエ 代表取締役)

企業づくり、地域づくり、仲間づくりで魅力ある企業へと変わっていきこう

今年度より支部長を仰せつかりました、(株)マルエ代表取締役の遠藤直樹と申します。

前任の菅沼支部長が4年にわたりご尽力され、盤石に築いて頂いた御殿場支部をお引き受けするのは、大変に身の引き締まる思いです。ご承知のように、大企業は混とんとする世界経済に翻弄され続け、生き残りに終始し、地域経済の一端を担うとは言い難い状況にあります。一方、地域に根ざし、仕事と雇用を生み続ける中小企業への期待は年々高まっており、それに呼応できるのは私たち同友会型企業しかないと確信をしています。そこで当支部では“企業づくり、地域づくり、仲間づくりで魅力ある企業へと変わっていきこう”を年初目標に掲げ、会員のみなさんを巻き込んでいきたいと考えています。具体的には、指針経営の確立や人間尊重経営の実践、中小企業振興基本条例制定に向けての取り組み、【復活】同友会まつりの開催や、会の魅力を外部へ発信し共に学ぶ仲間を増やす活動を行っていきます。会員が自社の存在意義を知り、魅力ある企業へと変革できるよう、前支部長、役員、事務局の方々と手を携え全力で取り組んでいくと共に、支部長職を全うする所存です。結びに、他支部、県事務局のみなさま方のご理解とご協力を切にお願いをしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。



## 榛原支部長 鈴木 徹氏 (株鈴木土建 代表取締役)

大改革から定着、充実、発展へ

正統派の堀池前支部長が役員選出規定をはじめ多くの大改革と組織の刷新をし、早2年が経過しました。私も基本的にその組織運営を継承しますが、性格が対照的な私としては当面支部内の充実を図るため「榛原ファースト」を念頭に行動して行くつもりです。

具体的には、退会者・休会者を防止すべく、在籍している会員を大切にすることを重点目標とします。その為には「充実した楽しい支部」となるよう、現在の30%程の例会出席率を60%に上げ、常に100人位が集まる組織にする必要があります。

これは容易なことではありません。昨年度はシニア会ができ、今年度は青年部が正式に発足します。「理念よりも懇親だ」「もっと勉強したい」…世代間の溝が益々広まろうとしている中、「世代を越え、団結し、支部と地域の活性化を図ろう！」をスローガンに掲げました。ベテランは若者に叱咤激励をし、若者は素直に聞き入れる様な理想の組織づくりを目指して、私は邁進する覚悟です。各委員会の役員も大変ですが、どうすれば人が集まるか、お客様を集めるつもりになって努力してほしいと思います。理屈では無く、その情熱が必ず自社にフィードバックし「千客万来・業務向上」をもたらします。

そして更に、中小企業振興基本条例を通じて行政との絆を深め、地域と自社の活性化を促せば、自ずと同友会の知名度は上がり、血眼にならずとも新会員は集まることでしょう。



## 浜松支部長 須山由佳子氏 (有キャリア・アップ 代表取締役)

<共創>の精神で魅力ある例会を互いに創り合う 浜松支部に!!

この度、浜松支部支部長を仰せつかりました須山由佳子と申します。昨年度の浜松支部は、組織委員長を中心に会員の努力により新入会員の増大に結びつき、それが浜松支部の活性化につながる飛躍の年となりました。この流れを大切にしながらも、①会員同士の更なる結束を深めていくこと ②浜松支部45周年に向けてのベクトルを揃える年にしていくこと ③会員同士のビジネスマッチングも取り

入れながら、更なる有意義な浜松支部を創り上げること 以上3点を掲げていきたいと思います。その活動方針を実現するべく組織体制については、(1) 3つのチーム制を敷き、副支部長がチームのリーダーとして、チームで主体的に例会企画と運営を展開していく動きをとっていきます。(2) 浜松支部は、新入会員の割合が多いため、「同友会とは何かを学ぶ」機会を設け、「5分間勉強会」を役員会・例会時に設定し、支部組織と個々の研鑽と成長につなげていきたいと思います。(3) また、先輩会員との参加を募りながらも、先輩の体験談をもとに、同友会の活かし方を学ぶ機会をつくり、結果的に先輩会員から新入会員まで、ベクトルを同じくした浜松支部として、結束を固めていく年としていきたいと思います。今年度は、「<共創>の精神で魅力ある例会を互いに創り合おう!」このスローガンのもとに、役員と会員とともに、運営をしていきたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。

## 各支部総会開催される 全11支部、新たな方針を確認し活動開始!

4月11日の静岡支部総会を皮切りに、県内全11支部で総会が開催されました(開催日、会場は一覧の通り)。複数の支部で、来賓に市長・行政・他団体の方々をお招きし、地域振興に対する同友会への期待を込めたご祝辞を賜る様子が見られました。続いて前年度の活動内容を確認した後、新年度の役員体制や活動方針、活動計画について審議し、新たな支部活動のスタートを切りました。

また、伊東支部総会では外部から木内規恵子氏(キウチデザイン 代表)を講師にお招きし、「地域発デザインの活用例と可能性」と題し特別講演を行いました。その感想をご紹介します。



木内規恵子氏による特別講演

### 【特別講演 感想】

木内規恵子氏の講演を聞き、自分なりに感じたことが幾つかありました。まず、デザインにはその企業や事業主の思いや会社としての方向性があることです。パンフレットなど、ただその商品が売れるためだけにあると思っていましたが、そうではないことに気づかされました。自分に置き換えたとき、自分の会社に対する思いや方向性とはなんだろう、と考えるヒントをもらった気がします。企業が商品を出す時に方向性をはっきりさせ、他社との差別化を図る。そんな単純なことに今まで気づきませんでした。扱う商品や売り出し先は違えど、企業家として事業を成功させるためのヒントを、デザインの有用性により気づかされました。また、デザインにコンセプトがあると、お客様が企業のファンになるきっかけが生まれる、とも話していました。自分の業種でも、使い方や考えを工夫すれば、エンドユーザーに商品売るということ以外でも活用できると思います、今後の活動に生かしていきたいです。

鈴木 将大氏 (㈲東亜電気工業・伊東支部)

### 2017年度 各支部総会 開催実績

支部	開催日	会場
伊東	4月19日(水)	ひぐらし会館
御殿場	4月12日(水)	御殿場高原ホテル
三島	4月27日(木)	みしまプラザホテル
沼津	4月14日(金)	沼津リバーサイドホテル
富士	4月20日(木)	ロゼ・シアター
富士宮	4月14日(金)	志ほ川 バイパス店

支部	開催日	会場
静岡	4月11日(火)	ホテルセンチュリー静岡
志太	4月21日(金)	小杉苑
榛原	4月13日(木)	うおとも
中遠	4月20日(木)	磐田グランドホテル
浜松	4月20日(木)	創作フレンチ マリポーサ

# 自分の素晴らしさを認め、今を受け入れよう

4月3日(月) ゲストハウス フォレストヒルズ



新しい年度にふさわしく穏やかに晴れた中、富士宮支部では合同入社式が盛大に執り行われました。新卒・中途採用含め41名の登録があり、決意新たに門出を皆で祝いました。

記念講演では、鈴木高史氏（㈲鈴木製作所）より「自分の素晴らしさを認める勇気をもとう」と題して話をいただきました。この表題の意味は、様々な困難を背負い込み、受け入れる勇気を持つということであり、苦しい時にその状況を受け入れて自分のできる最善に取り組むこと、「今

ここで頑張らずにいつ頑張る」という熱いメッセージを伝えました。

昨年入社式を経験した先輩社員からは「上司・先輩の言葉に素直に耳を傾けて」と一年間で成長し感じた想いを伝え、新入社員代表者からは「両親には初月給でプレゼントを送り、感謝の想いを伝えたい」と力強い発表がありました。

新入社員の感想文には「今やるべきことの大切さを知りました。やるべきことの意味を考えて、手を抜かず取り組みたい」と自分の行動を改めようと決意したり「大人の話は自分や友達の考えたことのない方向の話だから面白い」と、大人の価値観を新鮮に感じたりする言葉が見られました。

年齢・キャリア・働く会社などは様々ですが、この日に皆一緒になって入社式を行うことで「社会人の道を歩むものは自分一人ではない」と知り、何より心強く感じたのではないのでしょうか。私たちも仕事を始めた当初の気持ちを新たにすることができました。

西躰 亮貴氏（㈱富士山ドリームビレッジ・富士宮支部）

## 連載 -- Seinenbu Tsushin 青年部通信

第2回



静岡同友会 青年部の設立から1年。青年部副会長を仰せつかって以来、沢山の全国の青年経営者との関わりを頂いています。その中でも特に、3つの大きな機会を頂きました。

1 つ目は、2016年6月(株)クニヨシの早間雄大社長（中同協青年部連絡会共同代表）の会社訪問。学年違いの同級生。私と同じ鉄工場で、後継者。私と同じで28歳の時から社長になり、その当時の会社状況もほぼ同じ。でも、現在は売上、会社規模など全てにおいて、天と地ほどの差が開いています。大きな目標となる人を見つけることが出来ました。

2 つ目は、2016年11月の日間賀島で行われた中日本青年部合宿。愛知、岐阜、石川、福井、富山、静岡の6県の各代表者と本音で語り合い、親交を深めることが出来ました。

3 つ目は、2017年2月のあいち青年同友会合同例会の参加。500名以上の青年経営者が一堂に会して行われました。そこでは、40歳以下の青年経営者が主体となり切磋琢磨しながら経営実践している姿に、大きな衝撃とうらやましさを感じました。

青年部は、青年経営者同志が良い会社を創るために沢山のものを共有できる「場」です。本音で悩みを打ち明けることも出来るし、大きな刺激を受けることも出来ます。高め合う同志を沢山つくることも出来ます。年齢的に一番経営に頑張れる今だからこそ、大きな夢を持って、良い会社を創るために日々実践していきたいと思います。

三輪 雅則氏（㈱マルイチ・榛原支部）

お客様の最高の瞬間を写真に

(株)Next gate

取締役社長 滝 和也氏 (富士支部)

事業内容：写真撮影 (スタジオ写真・お宮参り・七五三・卒業・卒園・入学)、出張撮影、呉服販売・レンタル

設立：2013年6月

社員数：15名

入会：2016年10月

所在地：富士市蓼原61-2

TEL：0120-57-5822

URL：http://www.studio-shun.com/

富士市の相談しやすい写真館

県道396号線沿いにある黄色い建物、「写真スタジオ シュン」。2面の写真スタジオとふりそで専門店を併設する、融合型写真館です。ここを経営する滝和也氏は、現在30歳。2016年度入会の新会員です。

滝氏は写真専門学校を卒業後、他社のスタジオに入社し、そこで8年間腕を磨きました。その後、2013年に(株)Next gateを設立。人物撮影を中心に、空撮などを交えたロケーション撮影にも力をいれています。

学ぶ意欲溢れる若手経営者

後継者未来塾に参加し、経営のノウハウについて学んだ滝氏。写真館の仕事について尋ねると「スタジオの需要は減ってきているが、やり方次第で何とかなる」とのこと。逆境に立ち向かうこの姿勢、見習わな

ければと思いました。

同友会については、小・中学校時代に同級生だった望月琴美氏(合同会社HAPPY・沼津支部)から話を聞いていたそうです。その後、菅野隆氏(㈲エスディーサポート・富士支部)と知り合い、会話を聞いて「入会しよう」と決意しました。



滝 和也氏 (中央)

他店との差別化に情熱を燃やす

もともと、PCでの作業が好きな滝氏。実際に仕事場を見せてもらうと、ディスプレイが3台、PCが2台、ノートPCが1台と、昔の暗室ではなく、まさに「編集室」という印象でした。小さな子どもの撮影は大変ではないかと尋ねたところ「子どもは遊びながら撮影できるから全然大変ではない。むしろ、大人の方が大変なこともある」と、意外な答えが返ってきました。

最後に滝氏は、他店との差別化がこれからの課題、と話してくれました。高い技術力と素晴らしいセンス、そして情熱を籠めてキラキラした目で未来を語る滝氏の存在は、間違いなく他店との差別化の核になると感じました。

取材・記事：渡邊 正仁氏 (㈲丸之工務店・富士支部)

取材：畑中 和弘氏 (ハタナカ特急便・富士支部)

大竹 政彦氏 (㈲富士清掃センター・富士支部)

雇用して分かった「経営の壁」

NK設備(株)

代表取締役 中村 功尚氏 (榛原支部)

事業内容：配管工事、給排水衛生設備工事 (住宅設備工事、浄化槽工事、宅内下水工事)

創立：2009年1月

設立：2017年4月

社員数：正規4名

入会：2016年4月

所在地：榛原郡吉田町神戸858-2

TEL：0548-33-9136

中村功尚氏は、独立の夢を抱きながら水道工事業の職人として働き、遂に2009年にNK設備を創業。2017年4月に法人化しました。創業当時から何も分からぬまま自己流でがむしゃらな経営の日々。雇用した社員の入れ替わりが激しく、経営に大きな壁を感じていました。

同友会入会のきっかけ

創業から6年。経営に行き詰まり、会社をどうしていきたいか悩み、軸がぶれていることを感じていました。そんな時、福田克己氏(㈱ホームプラザ大東・志太支部)に同友会を紹介してもらい、経営の勉強がしたいと入会。例会に参加し、経営者としてあるべき姿や、会社をどうしていきたいかを模索する中で、経営理念、経営指針の重要性を痛感。同支部の古川徹氏(㈱フルカワ)をはじめ諸先輩のような経営者を目標とし、第14期経営指針を創る会にも参加します。

下請けではなく信頼されるパートナーとして

経営者としての転機は、仕事が忙しくなってきた頃のこと。ミスが頻発し、仕事の品質低下。「これでは拡大ではなく肥大、このままでは元請けからの信用が失われる」と経営の危機を感じました。

これを機に仕事の意味を考えるようになり、以来、信頼してくれる元請けの期待に応えていくため、経営者と社員が丸となった営業活動に取り組んでいます。経営者としては、いつでもどこでもどんな状況でも連絡が取れる状態を確保すること、社員には挨拶、清掃など常に周りへの気配りを忘れない現場作業を徹底させています。



中村 功尚氏 (右から2番目)

社員の結束と力強い兄の存在

若い社員と積極的にコミュニケーションがとれるのが自慢と話す中村氏。社内には同時期に独立し、水道工事業を営んでいた兄が、社員として働いています。弟である中村氏を社長と呼び、会社に貢献、中村氏にとって大変力強い信頼できる存在となっています。自慢の社員とともに目標を見据え、経営に邁進する今後の中村氏に注目です！

取材・記事：塚本 文明氏 (TDC・榛原支部)

取材：遠藤 在氏 (Sign・榛原支部)

河内 崇文氏 (㈱スマートブレイン・榛原支部)

## 新会員のご紹介 (敬称略) 会員数1068名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
いわまつ つねゆき 岩松 常之 (株)岩松 眼鏡販売業、賃貸マンション経営 (眼鏡の検査・販売、補聴器の検査・販売)	伊東	土屋 順史	
いとう ひろたか 伊藤 博高 (株)伊藤工業 金属加工業 (溶接、製缶 (工作機械))	沼津	石澤 浩一	
ばん まさと 伴 正仁 (有)バン・グローイング 金融コンサル	静岡	伴 美智子	
やまがし こうじ 山岸 浩二 (有)さんきゅうクリーニング クリーニング業 (衣類クリーニング)	榛原	鈴木 徹	

### ■名義変更による新名義人 (敬称略)

氏名	社名	所属支部	旧名義人
すんとう こうたろう 駿藤 航太郎 石の駿東		御殿場	駿東 友次郎
たけい けんいち 武井 健一 医療法人社団 青虎会		御殿場	湯山 英毅
にしがわ みつよし 西川 充芳 富士宮信用金庫		富士宮	岡部 昌彦

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」にアップします。e.doyuからのご確認をお願い致します。

## 友達の輪 第38回

吉川真実さん (保坂シール印刷(株)・静岡支部) からバトンを受け取りました、沼津支部の長岡善章 (株)アーティストックス) です。沼津市で創業して約23年、いまは長泉町で、セールスフォースというクラウド型顧客管理の提供や、ホームページ制作、IoTなどのシステム開発を行っています。昨年、伊豆市に「みらいラボ@ドットツリー」というラボ (研究部門) を作り、〇〇〇\*IoT、〇〇〇\*ICTをテーマに、皆さんの会社の課題解決をITを活用して行なっています。同友会歴は7~8年になります。実は以前に三島支部にいて、沼津支部に戻りました。同友会は私にとって“一歩先行く先輩経営者がいる会”であり、“「自分が迷ったとき、〇〇さんだったらどうするか」という選択肢を与えてくれる会”です。また、トレーニングの場でもあります。社長という肩書が効かない場で、どうやってみんなに納得して動いてもらい、グループ全体を活性化するか。これができれば、会社を活性化することだって難しい話しではないと思っています。これからも、積極的に同友会に関わって、当社の理念である「共に成長」を実践していきます。



長岡 善章氏

次回は、下山昇一さん (有)下山製作所・三島支部) です。よろしくお祈りします。

長岡 善章氏 (株)アーティストックス・沼津支部)

## 新事務局員紹介

静岡同友会に2名が加わりましたので、紹介します。



森本 英斗

(2016年11月1日 入局)

自分が生まれ育った静岡を元気にしたい。そんな気持ちで就職活動をしていて、同友会と出会いました。新人らしく元気よく、ハキハキと行動すること。そして会員の皆様、事務局の先輩方から多くの事を吸収し、お返しができるよう精一杯努力していきます。どうぞよろしくお願いいたします。



平野 晴香

(2017年4月1日 入局)

4月から、事務局で働くことになりました。群馬県出身ですが、大学進学をきっかけに静岡に来てから、静岡が大好きになりました。まだまだ未熟者ですが、これから同友会の一員として精一杯頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 同友会 三つの 目的

1. 同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。
2. 同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。
3. 同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。